

科目名	視覚情報伝達論B			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2022年度 後期	単位数	2	
担当教員	北本 雅久			
内容および計画	情報伝達のツールとして印刷物は重要な役割を担ってきた。制作するデザイナーは文字や写真、イラストレーション、パターン（模様）などの視覚要素を駆使し、伝達性を高める表現を追求し続けている。授業では様々な印刷物（広告）の鑑賞を通して、視覚に訴える構成方法を考察する。さらに限られた視覚要素を用いた広告の制作を通し、視覚要素ごとの特性を理解しながら、情報伝達に効果的な表現方法を習得する。			
1	作品鑑賞 写真を活用した印刷物			
2	調査 視覚要素を活用した印刷物（広告）の実例調査、発表			
3	研究制作1 写真を活用した表現			
4	研究制作1 写真を活用した表現			
5	研究制作1 写真を活用した表現			
6	研究制作1 プレゼンテーション、講評			
7	作品鑑賞 イラストレーション、文字を活用した印刷物			
8	研究制作2 イラストレーション or 文字を活用した表現			
9	研究制作2 イラストレーション or 文字を活用した表現			
10	研究制作2 プレゼンテーション、講評			
11	作品鑑賞 パターンを活用した印刷物			
12	研究制作3 パターンを活用した表現			
13	研究制作3 パターンを活用した表現			
14	研究制作3 パターンを活用した表現			
15	研究制作3 プレゼンテーション、講評			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	ISBN
特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
調査内容				10
課題1				30
課題2				30
課題3				30
課題提出は特に重視するので、授業時間内に終わらなかった課題は、授業時間外に作業を進める必要がある。				
学習到達目標	視覚要素ごとの表現手法を理解し、デザイナーや表現者に必要な表現力・伝達力を習得する。			
先修条件	デザインアプリケーションの基本的な操作方法を修得していると望ましい。			
実務経験	実務経験あり：民間企業、大学附属美術館勤務から現在に至るまで、グラフィックデザイナーとして展覧会			

	やアートイベントにおけるポスターなどの印刷物を数多く制作してきた。この経験をもとに印刷物の制作に必要な視覚要素の特性や表現手法を教授する。
その他	日頃から様々な印刷表現をよく観察すること。